

第1号議案

平成30年度事業報告及び収支決算について

I 事業の取組方針

協会の主たる業務である県外百貨店催事の縮小や補助金・委託料といった外部資金の減少に伴い、財務事情が悪化していることなどから、平成28年度から経営改善に取り組んでおり、平成30年3月に、平成33年度を目標年次として、協会会員の売上向上支援の強化を図るとともに、平成33年度までに収支均衡を達成する「経営改善計画」を策定した。

平成30年度は、この「経営改善計画」の初年度目であることから、下記の方針に基づき公益事業、収益事業及び経費の削減や事務の効率化に重点的に取り組んだ。

1 収益増加対策の強化

収支均衡に向けて、旬味市の売上拡大、スーパー・業務卸売会社等への卸売販売の拡大、物産観光展への積極的な参画などにより、公益事業・収益事業ともに、収益増加対策の強化を図った。

2 協会機能の強化

これまで取り組んできた県産品の紹介・宣伝や協会の決済機能を生かした販売支援に加えて、新たに若手事業者等の試験販売による事業者育成、増加する外国人旅行者への対応等による協会機能の強化に取り組んだ。

3 会員サービスの充実

会員加入メリットの向上を目指し、手数料の差別化、情報提供機能や販路開拓支援の強化等により、協会会員に対する事業やサービスの充実を図った。

4 県・市町村等との連携強化

県や(株)あおもり北彩館との連携を更に高めていくとともに、協会事業を利用した事業者の更なる販売拡大に向けて市町村、関係団体等と一層の連携強化に取り組んだ。

5 事務改善・経費支出の削減や正味運転資金の活用

協会事務の効率化による労働時間の短縮や交際費・旅費交通費等をはじめとした経費全般にわたる抑制対策を行うとともに、「正味運転資金を活用」した事業展開を実施した。

II 公益目的事業

1 県産品振興事業

本県の豊かな農林水産物やその加工品、青森ならではの食文化、伝統工芸品等の販売、情報発信、新規販路開拓支援及び事業者育成を、県内はもとより国内、海外において実施した。

(1) 県産品宣伝・販売促進事業

本県の優良産品や観光PR及び県産品の販路拡大を図るため、全国百貨店等において物産展を開催するとともに、全国百貨店等における催事への出店支援を行った。

①主要物産展【一部団体委託】

青森県物産観光振興対策協議会等が主体となり、県展及び2県展を開催した。

ア「第21回 青森県の物産と観光展」岡山高島屋

- ・会 期：平成31年3月21日（木）～27日（水）7日間
- ・会 場：岡山高島屋 8階催会場
- ・出店者：34社（食品29社、工芸5社）
- ・売上高：37,260千円（前年比101.4%）

イ「第3回 夏祭り ねぶた・七夕 青森・宮城物産展」東急東横店

- ・会 期：平成30年7月19日（木）～24日（火）6日間
- ・会 場：東急東横店 西館8階催物場
- ・出店者：18社（食品14社、工芸4社）
- ・売上高：16,512千円（前年比80.0%）※前年は8日間開催

②全国展、東北展【一部団体委託】

東北各県等と連携した東北物産展、百貨店の企画展及び地下催事等への出店支援を青森県物産観光振興対策協議会と連携して行い、県産品の魅力と観光PRを図った。

エリア	開催数	主な会場	延べ出店数
主 要	2	岡山高島屋、東急東横店	52 (9)
北海道	2	札幌東急	13
東 北	2	西武秋田店	6
関 東	32	横浜高島屋、東武宇都宮、松坂屋静岡店、そごう千葉店、伊勢丹浦和店、京急、柏高島屋、伊勢丹立川店	169 (17)
中 部	7	ジェイアール名古屋高島屋、松坂屋名古屋店	54 (3)
近 畿	10	阪神梅田本店、阪急うめだ本店、あべのハルカス近鉄本店	48 (4)
北 陸	1	大和香林坊	6
中国※	1	いよてつ高島屋	9
九 州	7	鹿児島山形屋、博多阪急、熊本鶴屋、大分トキハ、宮崎山形屋	64 (3)
合計	64	合計売上高 429,582千円（前年比96.5%）	421 (36)

※中国・四国

延べ出店数（）は工芸・内数



岡山高島屋（左）
東急東横店（右）



③県内外イベント【一部県補助事業】(県受託事業・継続) 受託額 99 千円

ねぶた祭り期間を中心とした県外から訪れる観光客及び、地元の大規模イベントに参加し、県産品の販売支援を行った。また、青森県を主会場とする大規模な会議等へも県産品販売コーナーを設置し事業者の支援を行い、全体の売上高は 21,227 千円(前年比 122.2%)であった。

No	名 称	場 所	期 間
1	青森の夏!ねぶた物産市	アスパム	8/1~7
2	青函フェリー軽食販売	青函フェリーターミナル	8/10~12
3	2018 RABまつり	青い海公園	9/8~9
4	全情連青森大会	ホテル青森	9/27
5	日弁連人権擁護大会	リンクステーションホール青森	10/5~6
6	青函食と観光プロモーション	藤崎百貨店	10/19~23
7	店頭催事	カブセンター西青森店	1~3月
8	糖尿病学の進歩	リンクステーションホール青森	3/1~2
9	「ふるさとの食・にっぽんの食」全国フェスティバル	NHK 放送センター・代々木公園 (東京都)	3/9~10

④県産品PR活動(県外プロモーター)

○第23回知覧ねぶた祭

- ・会期：平成30年7月21日(土) ・場所：知覧まち商店街(鹿児島県南九州市)
- ・品目：りんごジュース、りんご菓子、県産加工品等 合計21品目

○「太宰府天満宮・青森フェア2018」

- ・会期：平成30年10月6日(土)~7日(日) ・場所：太宰府天満宮(福岡県太宰府市)
- ・品目：りんご、りんごジュース、ほたて、嶽きみ、津軽塗箸他

○2018「青森人の祭典」in上野恩賜公園

- ・会期：平成30年11月7日(水)~8日(木) ・場所：上野恩賜公園(東京都)
- ・内容：青森県の物産・観光・文化の紹介

○メッセナゴヤ2018(名古屋市)

- ・会期：平成30年11月7日(水)~10日(土) ・場所：ポートメッセなごや
- ・品目：青天の霹靂

⑤直販特産展開催事業【県補助事業・継続】 補助金額 50千円(補助率1/2)

「青森の食の魅力」を県内外に発信するため、本県の豊かな農林水産物や加工品、ご当地グルメなど、さらに南北海道からの出展商品を紹介・販売するイベントを開催した。

- ・催事名称：第9回津軽海峡交流圏「大農林水産祭」 ~青森と北海道がつながってブランドづくり~
- ・場 所：青森産業会館
- ・主 催：津軽海峡圏「大農林水産祭」実行委員会
- ・期 日：平成30年11月9日(土)~10日(日)
- ・来場者数：26,125人

(2) 新規取引先拡大推進事業

①商談機会の創出

ア「青森の正直」商談会

県産農林水産物及び加工品の販路拡大のため県内外の多くの食品関係バイヤーに対して広く青森県産品の魅力を発信する商談会を開催するとともに、本県と北海道の青函交流を図った。

- ・会 期：平成30年6月28日(木) 10時～15時
- ・場 所：青森産業会館
- ・主 催：「青森の正直」商談会実行委員会
(構成員：青森県、県内金融機関、商工団体、物産協会等、全15団体)
- ・出展企業：115団体(うち北海道企業8社参加)
- ・参加企業：104企業、417名
- ・商談件数(事前予約分)：82件 ※フリー商談あり
- ・商談成約率(出展企業ベース)：42.6%

イ 商談会等への出展支援

○西日本食品産業創造展

- ・会期：平成30年5月23日(水)～25日(金)
- ・場所：マリンメッセ福岡
- ・出展品目：カシス商品、PG関連商品、カントリーりんご、しじみ商品等

ウ 関係機関等が開催する商談会への参加誘導

県内事業者の商談機会の拡大に向けて、金融機関などが開催する商談会を当協会ホームページで広く周知し、参加促進を図った。

掲載件数 5件 【内訳】金融機関 2件、青森県 1件、新聞社 1件

②青森県産農林水産品輸出促進事業(県受託事業・継続) 受託額 9,172千円

協会内に青森県産品輸出促進員を1名配置し、経済成長著しいアジアをターゲットに、県産農林水産品の輸出拡大に向けて県内企業を支援した。

- ・配置時期：平成30年4月1日～平成31年3月31日
- ・業務内容：企業活動支援、海外市場開拓調査、国内商社等に対する販売促進活動等
- ・輸出促進員：島谷 豊氏(元日本興業銀行)
- ・活動結果：県内企業20社の輸出に関する取組を支援し、国内商社等10社、海外商社等8社に対して県産品の販路拡大を行い、売買取引の開始及び継続を支援した。また、シンガポールマンダリンホテル内レストランにおいて青森県産食材を使用した青森フェアを開催した。

③新規取引先拡大に向けた相談対応による事業者支援

新たな販路確保や県産原材料調達に意欲的な事業者への相談対応・助言等によるマッチング支援等を推進した。

相談対応件数 62件

【相談内容内訳】※内容が複数にまたがる相談も有り。(延べ80件)

旬味市・物産展等催事出店38件、販路開拓全般17件、卸売事業取引11件、協会事業紹介11件、原材料調達7件、商品開発7件、その他7件

(3) 事業者育成支援事業

①若手事業者等の育成支援【新規】

ア チャレンジマルシェの実施

県内若手事業者や創業・起業者等の販売力と経営力の向上を目的として、自ら生産・製造した商品の試験販売の機会を創出し事業者育成を図るため、チャレンジマルシェを開催した。

- ・会期：1回目 平成30年9月22日(土)～24日(月・祝) 3日間
2回目 平成30年10月6日(土)～8日(月・祝) 3日間
3回目 平成30年11月23日(金・祝)～25日(日) 3日間
- ・場所：新青森駅1階 あずまし広場 ・出店者数：6社
- ・品目：りんご、ワイン、りんごジャム、りんごジュース、弁当

イ ぶつきょう寺子屋の実施

県内若手事業者や創業・起業者等の販売力、経営力の向上を図るため、先輩事業者が体験談を披露し参加者と車座で語り合い研鑽を深め交流する場を「ぶつきょう寺子屋」と称し、AOMORI STARTUP CENTER(青森商工会議所会館1階)にて開催した。

第1回：平成30年12月12日(水)

先輩事業者：株式会社長中 代表取締役 長尾 大氏(青森市)

第2回：平成31年1月24日(木)

先輩事業者：株式会社エイ・ワンド 常務取締役 高森 暖氏(青森市)

第3回：平成31年2月19日(火)

先輩事業者：合同会社弘前マーケット 代表社員 高橋信勝(弘前市)

②インバウンド対応への支援【新規】

アジア圏や欧米各国から訪れる外国人旅行者向けに外国語表記による販売促進やキャッシュレス決済に対応することを目的にセミナーを行った。

ア 研修会の開催

経済・社会のグローバル化によるインバウンドの増加や情報化の進展に対応できる県内食品企業等を対象にセミナーを開催した。

- ・日時：平成30年6月25日(月)
- ・場所：青森国際ホテル3階「萬葉の間」
- ・演題：外国人観光客の動向と物産販売に求められるもの
- ・講師：公益社団法人青森県観光連盟 専務理事 高坂 幹 氏
株式会社Origami ダイレクトセールスチーム
スペシャリスト 梶山 祥子 氏

イ 個別支援対応

- ・スマホ決済システム事業者による相談対応(平成30年6月25日、青森市)
- ・外国語表記等に係る事業者とインバウンド対応支援アドバイザーとのマッチング(平成30年9月13日、青森市)
- ・POP表示に係る事業者とインバウンド対応支援アドバイザーとのマッチング(平成30年10月19日、青森市)

③特産品コンクール事業(県補助事業・継続) 補助金額114千円(補助率1/2)

県産加工品等を製造・販売する商品のレベルアップと販売機会の拡大に資するため、「青森県特産品コンクール」を開催し、広く結果をPRすることで、販売促進と事業者の意欲向上を図った。

審査会：平成 30 年 7 月 12 日(木)

場 所：アピオあおもり

審査結果

受賞名	商品名(名称)	社名(市町村)
青森県知事賞(1点)	八戸サバ缶バー 津軽海峡の塩、ゆずこしょう、アヒージョ (さば味付)	株式会社マルヌシ(八戸市)
青森県農林水産部長賞 (2点)	妙丹柿くだもの酢・妙丹柿醸造酢 (果実酢加工品・柿酢)	なんぶ農援株式会社(南部町)
	テキカカシードル(果実酒(発泡性)①)	もりやま園株式会社(弘前市)
(公社)青森県物産振興協会 会長賞(4点)	きみかほるサイダー(炭酸飲料)	株式会社栄研(弘前市)
	焼干灰わかめ(灰ぼしわかめ)	合同会社襲月海宝(今別町)
	三沢パイカカレー(カレー)	一般社団法人三沢市観光協会 (三沢市)
	青森ワイナリーホテル パティシエラスク3種 りんご、黒にんにく、トマト(ラスク)	津軽開発株式会社 青森ワイナリーホテル (大鰐町)

・表彰式及び商品展示

期日：平成 30 年 9 月 10 日(月)

場所：青森県観光物産館アスパム

参加者：受賞者・報道機関・県、等



<青森県知事賞>

八戸サバ缶バー

(津軽海峡の塩、ゆずこしょう、アヒージョ)

・入賞商品販売会

期日：平成 30 年 9 月 11 日(火)～30 日(日)

場所：中三青森店 地下1階「北のれん」

・「平成 30 年度優良ふるさと食品中央コンクール」への推薦

青森県知事賞「八戸サバ缶バー」を青森県へ推薦し、県から、優良ふるさと食品中央コンクールへの申請があった。

同コンクール新製品開発部門「農林水産大臣賞」受賞

(4) 産直施設活性化推進事業(県受託事業・継続) 受託額 877 千円

産地直売施設では、地域の新鮮な商品が手頃な価格で購入できることで販売額を伸ばしているが、季節によっては品揃えが不十分となる時期もあることから、品揃えの充実に向けて商品交流を推進した。

- ・ 産品交流に係る情報交換会(3回)：6月5日(金)、10月24日(水)、2月25日(月)
- ・ マッチング商談会(2回)：6月5日(金)、10月24日(水)
- ・ 冬期の野菜を中心としたフェア(4箇所)

○道の駅よこはま 菜の花プラザ(横浜町)	
開催期間	平成 30 年 12 月 1 日(土)～平成 31 年 2 月 15 日(金)
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅とわだ とわだびあ〕 白菜、長ネギ、小松菜、ほうれん草、アピオス、大根、ヤーコン 等
○「道の駅」いかりがせき 特産品直売所(平川市)	
開催期間	平成 30 年 12 月 8 日(土)～平成 31 年 2 月 11 日(月)
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅しちのへ〕 人参(アロマレッド、金美人 等)、土付ごぼう、カット長芋 〔道の駅とわだ とわだびあ〕 じゃがいも、人参(黄、カラフル) 等

○ふじさき食彩テラス（藤崎町）	
開催期間	平成 30 年 12 月 15 日（土）～16 日（日）
	平成 30 年 12 月 22 日（土）～23 日（日）
	平成 31 年 1 月 19 日（土）～20 日（日）
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅しちのへ〕 雪人参、長芋、セロリ、白菜、小松菜 〔道の駅虹の湖〕 クリーミーポタージュ
○アグリのおいらせ（おいらせ町）	
開催期間	平成 31 年 1 月 7 日（月）～平成 31 年 2 月 15 日（金）
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅十三湖高原〕 レトルトしじみ、しじみ佃煮 〔道の駅つるた〕 スチューベンジュース、りんご飲むこんにやくゼリー 等

Ⅲ 収益事業

1 県産品販売推進事業

（1）旬味市管理運営事業（継続）

3月のリニューアルオープンにより売場面積が縮小となったことから、売上の減少を想定したものの、出店者による新商品の開発、原料調達やPOPなど売上向上につながる支援等を強化するなどの対策により売上高 151,805 千円（前年比 105.3%）の結果となった。



リニューアル

（2）県産品販売拡大事業

①県産品の卸売販売（継続）

ア 海外商品卸

輸出促進員の販売促進活動により紹介があった国内商社（7社）に対して県産品の卸売販売を行った。今年度は香港、マレーシアへ新規取引があったが、シンガポール、カナダ向けが大きく減少したことにより売上高 5,386 千円（前年比 80.8%）の結果となった。

イ 国内商品卸

県産品の販路拡大を図るため、国内における卸売販売の強化に取り組んだ。県内小売店、県外飲食店への卸売販売を強化したところ、県外小売店との新規取引が開始され、売上高 18,168 千円（前年比 118.1%）の結果となった。

ウ ふるさと納税制度による返礼品の発送（県受託事業）

あおりふるさと寄付金に係る PR（県産品発送）業務を県から受託し、101 件の発送により売上高 442 千円（前年比 161.3%）の結果となった。

②催事精算業務サービス（継続）

県内の一般消費者等に対する県産品の認知度向上、地産地消の推進を図るため、県内大手量販店等が実施する「地産地消フェア」や県外百貨店等での催事売上金の精算業務により売上高 67,367 千円（県内量販店 33,254 千円、県外催事 34,113 千円）前年比 83.1%の結果となった。

（3）物品販売事業（継続）

①青森県推奨観光土産品シール・青森の正直シール販売事業

県外観光客が安心して県産観光土産品を購入できるよう、優良観光土産品に貼付する「青森県推奨観光土産品シール」を販売した。

また、安心安全な青森県産品をアピールする「青森の正直シール」を販売した。

■販売実績

区分	シール単価 (円・税込)	販売枚数 (枚)	販売金額 (円・税込)	利用者実績 (のべ)
推奨観光土産品シール	0.5	75,000	37,500	12社
青森の正直シール	0.5	75,000	37,500	10社
合計	—	150,000	75,000	22社
前年比			61.2%	



②青森県特別栽培農産物認証票シール販売事業

安心・安全な県産農林水産物の生産・販売を促進するため、青森県からの指定を受け「青森県特別栽培農産物認証票シール」を販売した。

■販売実績

区分	シート単価 (円・税込)	販売枚数 (シート)	販売金額 (円・税込)	利用者実績 (のべ)
大 10枚	20	3,834	76,680	102 農業者・団体
中 20枚	20	8,267	165,340	
小 50枚	20	25,802	516,040	
合計		37,903	758,060	
前年比			104.3%	



IV 会員サービス

1 情報発信【新規】

県産品を広く宣伝・PRするため民間企業等と連携した検索情報サイト「ポみっと！」や情報誌「かけはし」等へ11事業者の掲載を推進した。また、協会及び連携機関の各種事業等に関する情報について、10月から登録会員112事業者へ定期的にメール配信を行った。

2 会員、非会員の手数料やサービスの差別化【新規】

(1) 事業手数料

会員メリットの向上を図るため、催事出店手数料等について、会員と非会員の差別化を図った。

区分	改正前	現行	
	会員・非会員	会員	非会員
百貨店催事出店手数料	3%	3%	5%
県展・2県展出店手数料	5%	5%	7%
ねぶた物産市出店手数料	15%	18%	20%
RAB祭り出店料	75,000円	80,000円	100,000円
新青森駅「旬味市」出店手数料	18%	20%	22%
特産品コンクール出品料	1,000円	2,000円	5,000円
大手量販店等帳合手数料	3%	3%	5%

(2) 一般財団法人青森県薬剤師会食と水の検査センターとの連携

会員メリットの向上を図るため、同センターの協力により各種検査料金に協会会員価格を設定した。19の事業者が利用し支援の効果が図られた。

V 会議

1 総会

平成30年6月25日(月)

2 理事会

第1回 平成30年5月18日(金)

第2回 平成30年11月13日(火)

第3回 平成31年1月17日(木)

第4回 平成31年3月12日(火)

3 監査

第1回 平成30年5月9日(水)(29年度分)

第2回 平成30年10月31日(水)(30年度上期分)

4 青森県物産観光振興対策協議会総会

日時 平成30年5月29日(火)

場所 青森市(水産ビル)

5 旬味市活性化会議

日時 平成30年5月30日(水)、平成30年9月13日(水)

場所 青森市(JR新青森駅内会議室)

参集者 出店者、(株)JR東日本青森商業開発、協会

6 旬味市緊急連絡会議

日時 平成30年12月13日(木)

場所 青森市(JR新青森駅内会議室)

VI 関係機関との連携

1 関係機関との連携

No.	機関名	委嘱役名	就任者
1	青森県「攻めの農林水産業」推進本部	委員	会長
2	青森県観光戦略推進本部	構成員	〃
3	青森県農林水産物輸出促進協議会	監事	〃
4	「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会	理事	〃
5	全国観光土産品連盟	理事	〃
6	(青森県観光戦略推進本部) 国際戦略プロジェクト推進委員会	委員	専務理事
7	青森県食品衛生監視指導計画に関する検討委員会	委員	〃
8	青森県伝統工芸指定審査会	委員	〃
9	(青森県「攻めの農林水産業」推進本部) 総合販売戦略・食産業推進委員会	オブザーバー	〃
10	青森県食育推進会議	協力団体	—
11	青森県 HACCP 推進連絡会議	会員	—

2 職員のアドバイザー派遣

No.	名称	会期	会場	主催
1	あおもり新商品お披露目会相談コーナー	2/4 (月)	ホテル青森	青森県